

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

NO.97		里山文化園		生物地理区分		コナラ林(東日本)	
				地域区分		中山間地	
所在地	都道府県	埼玉県	地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地	
	市町村	ときがわ町		4.低地	5.その他		
	集落名称等	玉川	環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田	
				4.畑	5.小川・水路	6.ため池	
7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林					
10.その他							

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの :それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
埼玉県ふるさとの森に指定	
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
地域の極相林に近い春日神社の森(スダジイ林が優先する照葉樹林:埼玉県ふるさとの森に指定) 各階層に、スダジイ、アラカシ、ヒサカキ、タブノキ等が優先する照葉樹林で、ヒノキ、モミの体径木が混生している。	「里山文化園」にときがわ町が指定



撮影時期:2003年3月
写真の説明:薪炭林に更新中の雑木林
長い間利用されずにヤブ化した林にて、除間伐や下草刈りを行い、薪炭林の復元を目指している。



撮影時期:2007年7月
写真の説明:実生のアカマツ
里山の代表的な林の形態の一つであるアカマツ林の復元に向け、実生のアカマツを保護育成している。

NO.97		里山文化園		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	埼玉県			2.団体・企業・学校等
	市町村	ときがわ町			3.行政による支援施策の活用
	集落名称等	玉川			4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他	

取組主体	主な主体の名称		もりんど	
	その他の主体の名称		ときがわ町	
目的: 主: その他	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用			
	自然観察会			
	環境教育・学習活動	*	(財)埼玉県生態系保護協会 環境カレッジ雑木林講座への協力	
	里地里山体験・環境保全	*	里山探検隊、里山入門講座	
	農林業体験活動	*	山村学園短期大学里山保全体験実習への協力	
	エコツアー			
	その他			
	4.野生動植物やその生息地の保全・管理			
	取組内容	長い間放置され藪状になっていた雑木林で、除間伐や落葉掃き、植樹等の管理を行い、若いコナラ等を中心とした明るい雑木林(薪炭林)に更新		
	5.地域の良好な景観の保全・修復			
	取組内容	地域の特徴的な林であったアカマツ林や薪炭林の復元		
連携・協働による取組内容・役割分担等		対象地のときがわ町里山文化園は、ときがわ町(旧玉川村)が地域住民と共にかつての里山を復元し保全する目的で始めた事業。現在、園内公有地の保全を地元NPO(ときがわ町の自然を活かす会)[もりんど]が自主的に行っている。また、里山文化園を社会教育に活用した取り組みとして、企画及び講師等を[もりんど]が、事務局的役割を町役場生涯学習課が担当し、里山探検隊、里山入門講座等を行っている。また、山村学園短期大学の里山保全体験学習では、町生涯学習課、-[もりんど]が連携して実習の指導にあたっている。		
取組の特徴や強調したい点		<ul style="list-style-type: none"> ・ときがわ町里山文化園は、里山として保護・保全する目的で、ときがわ町が取得した公有地(地約3ha)と私有地を含む約32haの野外自然博物館のようなもの。地権者や地域住民などと協力して、町が、昔の美しく動植物豊かな里山を復元し保全すると宣言し、指定した地域。行政が里山を守ると宣言したことが特徴的。 ・園内には、古来より、その時代にあった里山的利用(焼畑、秣場、薪炭林など)がされてきた地域と里山として利用される事無く、信仰の対象として自然の森が保護された、この地域の極相林であるスダジイの森が存在する。 ・(旧玉川村)植物誌制作時の調査で、対象地の古来の里山的利用の歴史が明らかになった。ときがわ町里山文化園は、古来からの里山的利用(焼畑、秣場、薪炭林など)の歴史を古文書などの資料から現在の地図に重ね合わせることが出来る地域であり、また、過去の里山的利用の痕跡を現在の植生からも窺い知ることができる。 ・-[もりんど]では、現在の文化園保全計画を策定するにあたり、現在の植生を調べるとともに、そのような歴史的背景も参考にした。 		

取組の概要	町が住民協力の下、保全目的で「里山文化園」を指定し野外博物館へ	課題グループ 景観文化 仕組
事例の特性	地域コミュニティ再生に向けた活動団体の協力体制(大都市近郊)	
取組の中で他の地域の参考となる点	行政が地域住民とともにかつての里山を復元し保全する目的で、公有地、私有地を含む32haを「里山文化園」に指定し、地元NPOの協力により、植生調査、薪炭林の復元などに取り組むとともに社会教育の場として活用している。	